

層想

SOU 添



■建築物概要書

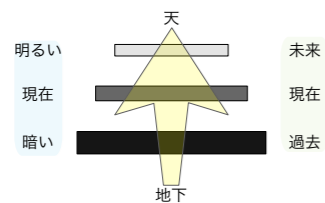
建築物 延べ床面積：45.71㎡
 構造：鉄骨造+木造ルーバー屋根
 柱・梁：鉄骨溶融亜鉛めっき仕上げの上耐候性塗料
 ルーバー屋根：木材アコヤ

コンセプト

沖縄戦では年齢・性別・職業・階級・国籍に関わらずたくさんの方が亡くなりました。計画地地下にある壕では今もお遺骨収集が行われています。

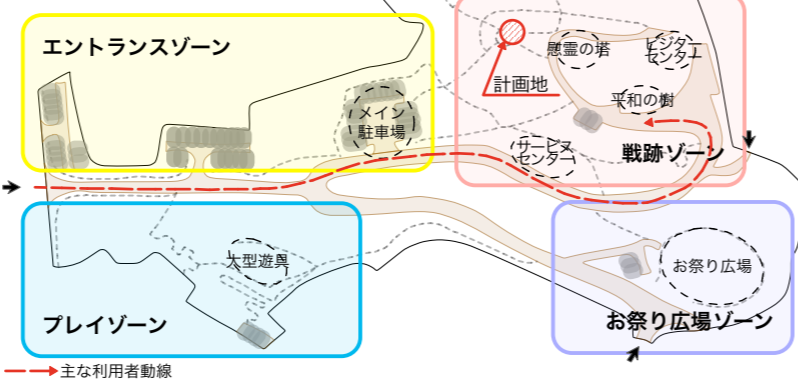
この計画地には、過去の辛い戦争時代、家族のことを思いながら勇敢に立ち向かった人々の想いがあり、現代では戦争の悲惨さを伝え、二度と争いのおきない平和な世界を目指そうとする人々の想いがあります。そしてどの時代も未来への明るい希望を抱く想いが存在します。

そんな様々な過去から未来の【想い】を【層】のように重ねあわせ、暗く辛い時代も、明るい未来も感じながら、戦没者に【寄り添う】ことができる展望台を計画しました。

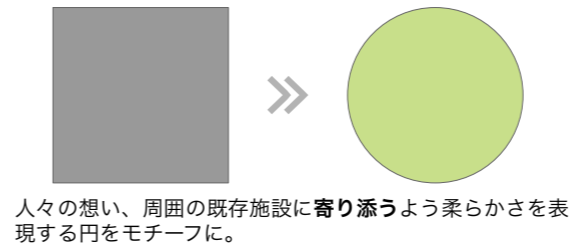


公園全体図

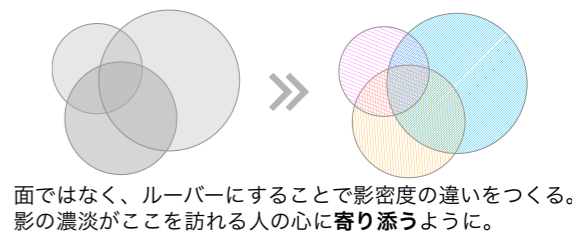
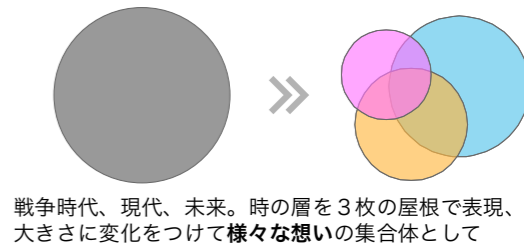
計画地は海軍壕公園内の一番高い部分にあたり、那覇市・豊見城市など周辺地域も望むことができます。エントランスゾーンより徐々に高度が上がり展望台へつながっています。平和学習へ訪れた方の休憩スペースとなる部分に配置しています。



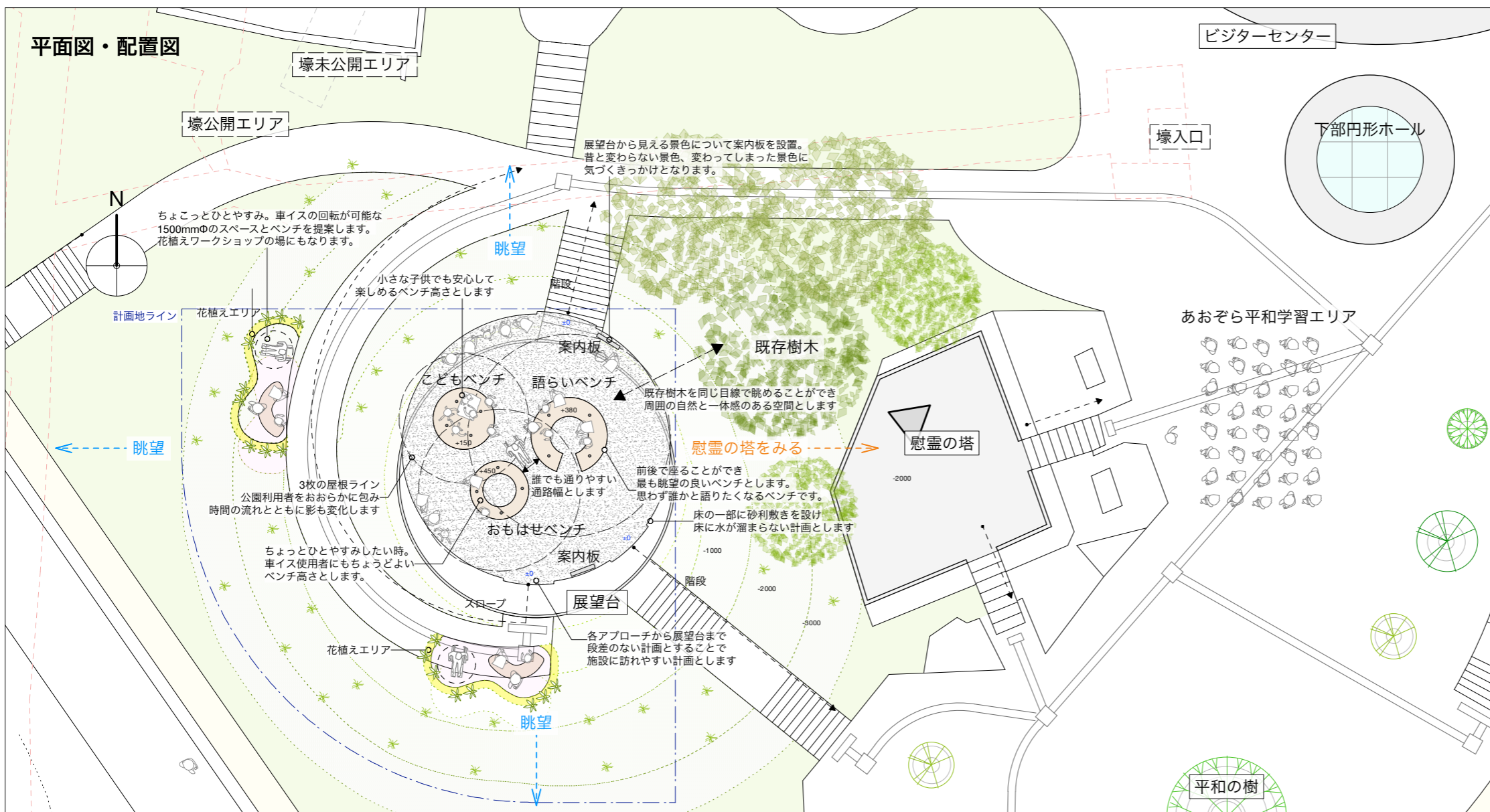
Diagram



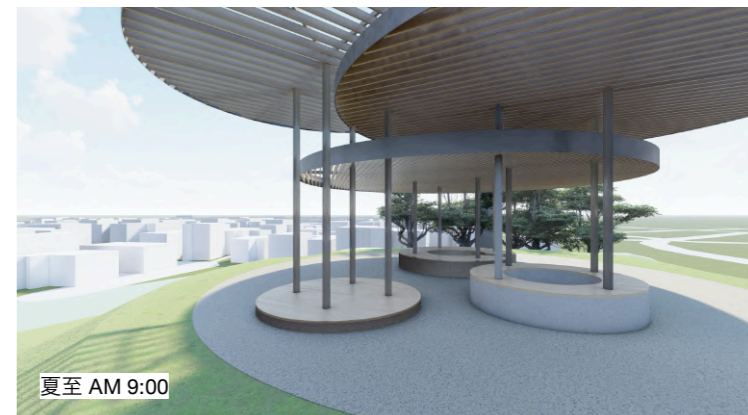
層の重なりをずらし、屋根の高さに違いをだし、さらに屋根の厚みを変えることで、上の屋根ほど軽やかに。明るい未来へ想いを寄せる構成とします。



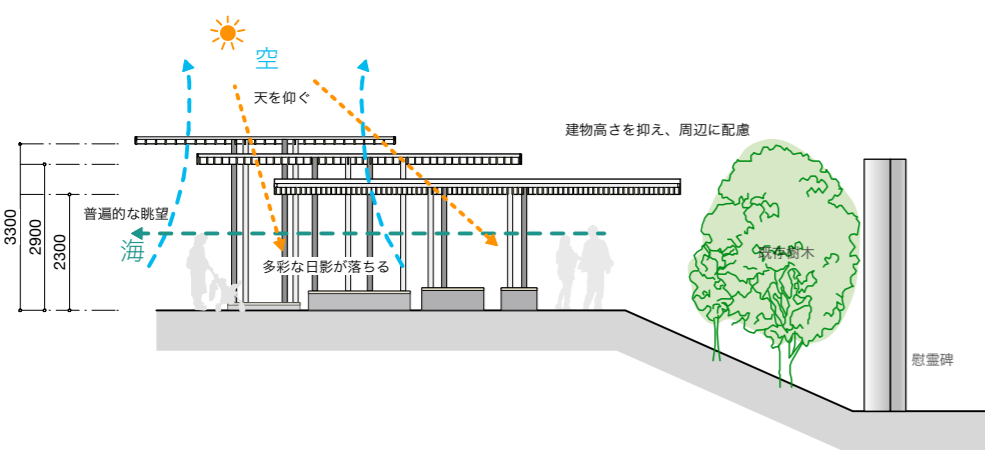
平面図・配置図



日陰検討CG



断面図



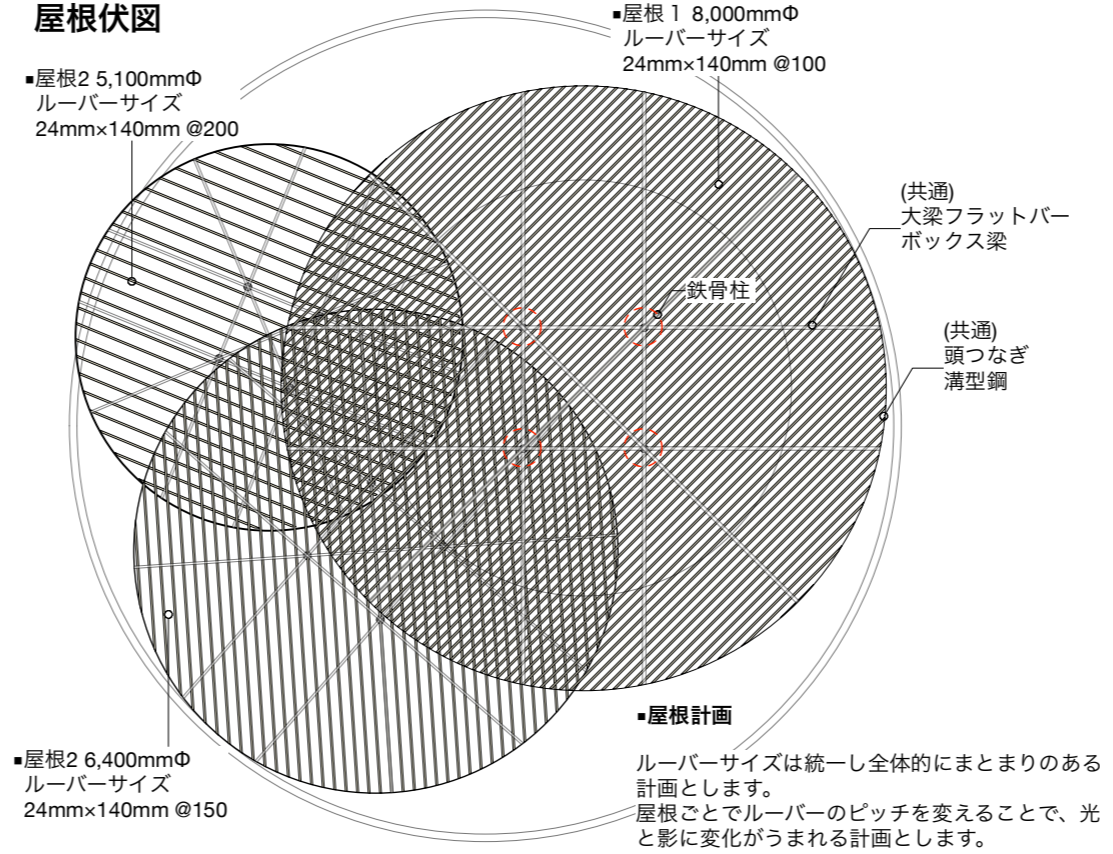
■断面計画

周囲に配慮し、建物高さを抑えました。東西に広がる深い屋根とルーバーで日射を程よく遮り、北側を中心に建物を向けて開けた景色を取り込みます。既存施設からの視界を確保しながら、居場所によって風景がかわる断面構成としています。

■構造計画

それぞれの屋根中央に鉄骨丸柱4本を配置。片持ちの大梁はフラットバーのボックス梁、小梁と頭繋ぎは溝型鋼とし、ヤジロペーのようにバランスを保ちながら構造を成立させています。

屋根伏図



長さ、スパン、向きが異なる3層のルーバーからおちる影は、それぞれに違う表情をつくりだします。時間帯によって影のかたちは変わり、影の密度もその都度変化します。平和への想いを寄せながら、影を楽しむのもひとつ。居心地の良い展望台を提案します。

日陰検討CG動画は右のQRコードよりご覧になれます→

